

指定管理者実績評価シート

1. 基本情報

施設名	スポーツ施設		
設置目的	市民の体育の振興を図るため、体育館、運動場、市民プール等を設置する。		
指定管理者	名称	協栄・アシックスグループ	
	所在地	(代表企業所在地)千葉県鎌ケ谷市新鎌ケ谷2丁目8-17	
	その他	※指定管理者が共同企業体の場合は、構成団体名を記入 代表者：株式会社 協栄 千葉支店 千葉県鎌ケ谷市新鎌ケ谷2丁目8-17 構成員：アシックススポーツファシリティーズ株式会社 兵庫兼神戸市中央区港島中町七丁目1番1	
指定期間	令和 元 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日 (2 年目)		
施設所管課	地域づくり推進	部	スポーツ課

2. 評価

※ 指定管理者からの各種報告書や実地調査等の結果を踏まえた評価を「評価基準」に基づき記入。

※ 施設の特性に沿って、市が指定管理者に何を求めるのか、それを評価するために適切な評価項目を必要に応じて追加。

※ 評価に対するコメント欄は、市が指定管理者に求める運営内容に対し、どのような結果であったかという視点から、全ての評価に対してコメントを記入。

	項目	内容	評価	評価に対するコメント
施設管理・運営	維持管理	施設や設備の保守点検、整備、清掃等の適切な管理が仕様書や事業計画書どおりに行われているか。	B	仕様書に基づき適正に管理されている。
	安全管理・危機管理	警備や防犯対策、衛生管理が仕様書や事業計画書どおり適切に行われているか。 防災、防犯、緊急時の対策が整備され、それに沿った運用が行われているか。	B	仕様書や事業計画に基づき適正に行われている。
	職員体制	仕様書や事業計画書に定めたとおり、安定的な運営が可能となる職員体制が取れているか。	B	仕様書や事業計画に定められたとおりの職員体制が取れていた。
	職員の育成	職員の指導育成、研修体制、接遇状況は適切か。	B	研修計画のとおり、スタッフ研修等を適切に実施していた。
	運営体制	組織体制、連絡網等によるサポート体制が整備されているか。	B	運営体制、緊急時等の対応に関する連絡体制ついて、計画どおり整備されていた。
		委託先との連携は図られているか。	B	委託先業者と連携し、適切な施設管理に努めていた。
自主モニタリング	より良い施設の管理運営に向けた取組みを継続的に行っているか。	B	利用者アンケートを通し、利用者の要望や意見等の声を傾聴し、より良い施設の管理運営を行っていた。	
サービスの質の向上	施設の利用実績	仕様書や事業計画書等に定めた利用実績（利用者数等）があるか。	-	新型コロナウイルスの影響による、プールの休場及び体育館・運動場の休館営業時間の短縮を行ったことによる利用者数の大幅減のため評価不能とした。
	実施事業の質の向上	仕様書で定めた事業や施設の効用をより発揮するような自主事業等を適切に実施しているか。	-	新型コロナウイルスの影響による休館により、夜間に実施する自主事業の開催が不可能であったため、評価不能とした。
	利用者への対応	利用者の平等な利用が確保されているか。 利用者への対応は適切か。	B	利用者対応について指摘を受けることもあったが、その都度適正に対応し、平等な利用が図られるよう努めていた。
	利用者満足度	施設の管理運営に対する利用者の満足度はどうか。	A	利用者アンケートでは、スタッフの接遇に対し「とても良い」「良い」の評価を多く得ていた。
	情報の発信	施設のPRや広報活動を適切に実施しているか。	B	ホームページやSNS、施設だよりを発行するなど、広報活動を適切に実施していた。
	地域等との連携	周辺地域、関係機関、ボランティア等との連携や情報交換等を図り、円滑な運営を行っているか。	A	各施設に近接する施設や団体・住民と連携、協議を行い、円滑な施設運営を行っていた。
効率的な管	収支決算状況	収支計画書に記載された予算と事業報告書に記載された決算で大幅な相違はないか。	-	新型コロナウイルスの影響による休館・営業短縮及び、夜間の自主事業開催制限に起因する大幅な減収のため、評価不能とした。
	利用料金の徴収	事業計画書どおりに利用料金を適切に徴収しているか。	B	事業計画書のとおり利用料金を適切に徴収していた。

その他	雇用関係	障害者や高齢者等の雇用は仕様書や事業計画書に記載されたとおりとなっているか。	B	施設管理人として、多くの高齢者の雇用が確認できた。障害者については、雇用はないものの、積極的に募集を行っていた。
		市内在住者の雇用確保が図られているか。	B	市内在住者の雇用を優先的に行っていた。
		雇用保険や労災保険には加入しているか。	B	雇用保険や労災保険に加入していた。
		最低賃金は確保されているか。	B	最低賃金は確保されていた。
	市内産業の振興	市内産業の振興への配慮はされているか。	B	市内事業者に依頼できる業務は、優先的に市内事業者に業務を依頼していた。
	環境保護	環境基本計画、地球温暖化対策の実現に取り組んでいるか。	B	施設の節電やごみの減量に取り組んでいた。
法令遵守	法令等は遵守されているか。	B	法令等を遵守していた。	
個人情報保護 情報公開	個人情報は適正に管理されているか。 情報公開請求への対応は適切か。	B	適正に管理されていた。	

【個別評価項目の点数換算】

A (優良) : 8点	B (適正) : 5点	C (課題有) : 2点	D (要改善) : 0点
-------------	-------------	--------------	--------------

総合評価	B (適正)	(合計点 : 106 点) (得点率 : 85 %) ※小数点以下、切捨て (満点 : 124 点)
総評	施設の設備の維持管理や安全管理が適正に行われており、安心・安全に施設が利用できるように取り組んだ。また、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による消毒・換気・人数対策等の感染対策等、情勢に応じ柔軟な施設運営を行った。	

【総合評価の算出方法】

A	優良	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が85%以上 かつ すべての項目においてB評価以上 かつ 評価項目【施設管理・運営】及び【サービスの向上】の各区分においてA評価があり、当該2区分におけるA評価が4項目以上
B	適正	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が75%以上 かつ D評価がなく、C評価が1項目以下
C	課題有	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が40%以上 かつ D評価が1項目以下
D	要改善	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が40%未満 または D評価が2項目以上

3. 課題解決の結果 ※ 事業年度とその前年度に生じた課題への対応結果を、いつ頃のように改善したか等を記入

<p>【事業年度とその前年度からの課題】 利用者数の増加。特に競合他社が多いトレーニング室の利用者数の増加に取り組んでほしい。 また、施設全般に渡り老朽化等により修繕箇所や修繕頻度が増加傾向にあるため、優先順位をつけて改修計画作成や提案を行ってほしい。</p>
<p>【課題への対応結果】 利用者数の増加については、令和2年度は緊急事態宣言やまん延防止措置の適用による休館があり、利用者の増加は出来なかった。また、老朽化等による修繕箇所の優先順位及び提案については、各週にて行われる指定管理者定例会にて報告を行い、市と協議し修繕時期の検討を行った。</p>

4. 次年度の管理運営に向けた課題 ※ 次年度の管理運営に向けての課題や指定管理者に取組んでほしいこと等を記入

<p>新型コロナウイルスのワクチンの普及により、緊急事態宣言及びまん延防止措置の対象区域から柏市が外れることにより、施設自体が時短制限等がなくなり徐々に通常営業へと移行する。そのため、夜間の自主事業や自粛により開催されなかった大会の開催等、徐々に例年通りの運用に戻ることが予想されることから、業務が滞ることなくスムーズに移行できるよう努めること。</p>

5. 労働条件審査の結果 ※ 審査結果の総評を記入

<p>労務管理状況については、従業員のヒアリングにより、従業員は意欲的に業務を行っている様子がうかがわれ、良好な労働環境であると推察されました。特に、全施設の現場管理の責任者であるリーダーの長年の豊富な経験によるリーダーシップのもと、従業員相互のコミュニケーションと本部との意思の疎通も十分築かれているようです。</p>
--